

鹿 県 身 障

かんぎ 成宜

発 行 所

社会福祉法人
鹿 児 島 県
身 体 障 害 者 福 祉 協 会

鹿 児 島 市 小 野 一 丁 目 1-1
ハートピアかごしま3階
電 話 099-228-6271

発 行 人 藤 田 満
か ん ぎ 第 158 号

社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会

新役員・新評議員のご紹介

この度、鹿児島県身体障害者福祉協会会長に再任されました藤田 満です。

皆様におかれましては、日頃から当協会の活動に對しまして、特段のご理解・ご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当協会の

様々な事業が中止や縮小を余儀なくされました。

今年度ワクチン接種も始まりましたが、依然として先行きが見えない状況にあります。皆様におかれては引き続き感染予防に十分留意し、お過ごしいただきたく存じます。

さて、令和3年度当協会では

○役員（理事・監事）
（任期：令和4年度会計に
関する定時評議員会まで）

会長 藤田 満
副会長 黒木 恵
理事 田中 勉
理事 大久保 正
理事 財部 正
理事 前田 久
理事 新田 久美子
常務理事 南川 耕次
監事 宮川 博

○評議員
（任期：令和6年度会計に
関する定時評議員会まで）

評議員 川村 釜正
評議員 吉村 逸夫
評議員 大平 勝彦
評議員 前田 純正
評議員 鮫島 良人
評議員 信元 光章
評議員 武元 三男
評議員 寿福 隆之
評議員 石澤 昭大
評議員 前田 望

「鹿児島・佐賀エールプロジェクト」始動へ 全スポ大会の開催機運醸成と 競技力向上目指す

令和5年度に延期された「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」と、その影響で1年延期を余儀なくされた「SAGA2024国スポ・全障スポ」。奇しくも2年連続九州開催となることから、両県協同でこれを契機として、様々な分野での両県の一層の関係深化を図り、その絆を未来につないでいく事業が始まります。

障害者スポーツの分野でも鹿児島・佐賀エールプロジェクト（障害者アスリート交流事業）として、今年度から佐賀大会がある令和6年度まで実施。全国障害者スポーツ大会正式競技で、両県の選手が行き来し練習会や練習試合を行うことになりました。

3月に本県で開催されたキックオフミーティングでは、両県の関係者が集まり、事業の方向性や可能性を検討。その後、今年度の対象競技を決定し、近々両県同時に事業概要を発表することが決まりました。

なお、この事業は、当協会が鹿児島県から受託し実施・運営します。

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金の配分金を充当させていただきます。

予算及び令和2年度決算が承認されましたので併せてご報告します。

◎かごしま県民手話言語普及等推進事業

令和2年3月に、手話の普及と理解促進を図ることを目的に「かごしま県民手話言語条例」が施行されました。

この条例を踏まえ、手話の普及等に関する施策を推進するため、当協会においては今年度県からの委託を受け、次の事業を実施します。

- ①かごしま県民手話言語条例普及啓発事業
- ・県民や事業者等に対し、条例の普及啓発及び聴覚障害者への理解を深めるためのパンフレット

- 等の作成
- ②手話講座等開催事業
- ・県内各地域で県民向け手話講座の開催
- ・県内の事業者や団体等が行う研修会等への講師派遣
- ③手話通訳者指導者養成研修事業
- ・手話通訳者の養成に必要な指導者の養成研修会の開催
- ④離島オンライン手話奉仕員養成研修事業
- ・離島地域における手話奉仕員養成に必要な指導者の養成研修会の開催
- ⑤遠隔手話通訳サービス運用事業
- ・タブレット端末に係る通信費の負担

令和3年度 資金収支予算 (法人全体)

(単位：円)

勘定科目		2年度予算額	3年度予算額	増減
事業活動による収支	収入			
	会費収入	720,000	720,000	
	経常経費寄付金収入	50,000	50,000	
	経常経費補助金収入	28,162,000	26,547,000	-1,615,000
	受託金収入	178,420,000	154,720,000	-23,700,000
	事業収入	16,053,000	20,817,000	4,764,000
	受取利息配当金収入	25,000	25,000	
	事業活動収入計 (1)	223,430,000	202,879,000	-20,551,000
	支出			
	人件費支出	134,317,000	134,276,000	-41,000
	事業費支出	81,625,000	60,313,000	-21,312,000
事務費支出	2,111,000	1,986,000	-125,000	
助成金支出	1,783,000	1,733,000	-50,000	
負担金支出	40,000	40,000		
支払利息支出	1,000		-1,000	
事業活動支出計 (2)	219,877,000	198,348,000	-21,529,000	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	3,553,000	4,531,000	978,000	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計 (4)			
	支出			
固定資産取得支出		400,000	400,000	
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,595,000	3,595,000		
施設整備等支出計 (5)	3,595,000	3,995,000	400,000	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	-3,595,000	-3,995,000	-400,000	
その他の活動による収支	収入			
	設備整備等積立資産償還収入	4,000,000		-4,000,000
	サービス区分間繰入金収入	700,000	700,000	
	その他の活動収入計 (7)	4,700,000	700,000	-4,000,000
	支出			
	積立資産支出	8,298,000	1,820,000	-6,478,000
	サービス区分間繰入金支出	700,000	700,000	
その他の活動支出計 (8)	8,998,000	2,520,000	-6,478,000	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	-4,298,000	-1,820,000	2,478,000	
予備費支出 (10)	300,000	300,000		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-4,640,000	-1,584,000	3,056,000	
前期末支払資金残高 (12)	19,919,000	16,148,000	-3,771,000	
当期末支払資金残高 (11)+(12)	15,279,000	14,564,000	-715,000	

令和2年度 収支決算 (法人全体)

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	会費収入	720,000	720,000	
	経常経費寄付金収入	50,000	50,000	
	経常経費補助金収入	28,862,000	29,862,000	-1,000,000
	受託金収入	128,173,000	126,766,233	1,406,767
	事業収入	13,847,000	11,917,550	1,929,450
	受取利息配当金収入	25,000	30,815	-5,815
	その他の収入	218,000	272,380	-54,380
	事業活動収入計 (1)	171,895,000	169,618,978	2,276,022
	支出			
	人件費支出	129,665,000	127,743,678	1,921,322
事業費支出	35,915,000	32,367,946	3,547,054	
事務費支出	1,875,000	1,766,791	108,209	
助成金支出	1,202,000	1,112,678	89,322	
負担金支出	20,000	20,000		
支払利息支出	1,000		1,000	
事業活動支出計 (2)	168,678,000	163,011,093	5,666,907	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	3,217,000	6,607,885	-3,390,885	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	940,500	940,500	
	施設整備等収入計 (4)	940,500	940,500	
支出				
固定資産取得支出	1,490,500	1,490,500		
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,595,000	3,593,040	1,960	
施設整備等支出計 (5)	5,085,500	5,083,540	1,960	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	-4,145,000	-4,143,040	-1,960	
その他の活動による収支	収入			
	設備整備等積立資産償還収入	4,000,000	4,000,000	
	その他の活動収入計 (7)	4,000,000	4,000,000	
	支出			
	積立資産支出	7,717,000	7,716,300	700
その他の活動支出計 (8)	7,717,000	7,716,300	700	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	-3,717,000	-3,716,300	-700	
予備費支出 (10)	300,000		300,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-4,945,000	-1,251,455	-3,693,545	
前期末支払資金残高 (12)	20,348,000	21,132,852	-784,852	
当期末支払資金残高 (11)+(12)	15,403,000	19,881,397	-4,478,397	

第21回全国障害者スポーツ大会

「三重とこわか大会」が中止 いばらき大会から3年連続

今年10月、三重県で開催予定だった全国障害者スポーツ大会が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、国民体育大会とともに中止を決定しました。大会の中止は、台風接近で直前に開催を見送った2年前の「いきいき茨城ゆめ大会²⁰¹⁹」、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送った昨年の「燃ゆる感動かこしま大会」に続き3年連続となります。

○コロナ禍の選手選考

鹿児島県では、個人競技の選考会となる5月の県障害者スポーツ大会が、昨年引き続き中止。2年前の県大会結果などを参考に本県代表の39選手が選出されました。

団体競技でも九州代表を競うブロック予選が全競技中止。エントリリーしたチームによるリモート抽選会などで、代表チームを決定しました。その結果、本県からはバスケットボール（知的障害）女子、バレーボール（聴覚障害）女子、サッカー（知的障害）の3チームが九州代表として初出場することが決まりました。

○今後の大会予定

全国障害者スポーツ大会は、来年栃木県で「いちご一会とちぎ大会」、再来年は鹿児島県で特別大会として「燃ゆる感動かこしま大会」が開催されます。三重県は今後、国体・大会を延期するか否かを判断。延期を希望する場合は、令和9年開催となります。

○感染拡大から中止へ

8月に入り新型コロナウイルスは、全国で爆発的に感染拡大します。開催地三重県も緊急事態宣言の対象となり、中央主催者（文部科学省、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会）へ団体と全国障害者スポーツ大会の中止を申し入れました。その後、主催4団体での協議、日本スポーツ協会国体委員会を経て、8月26日、国体・障害者スポーツ大会の中止が決まりました。

令和3年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

次の皆様方に、令和3年度の賛助会員として加入いただきました。ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。

(順不同 敬称略)

令和3年8月31日現在

団 体 名	団 体 名
医療法人愛育会 愛育病院	医療法人静和会 ファミリーHP 薩摩
医療法人鶴丸会 鶴丸歯科医院	株式会社指宿白水館
医療法人至誠会 中村温泉病院	障害福祉サービス事業所 ウィズ
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター	有限会社ハヤカワ
医療法人隆成会 隆成会病院	株式会社山形屋
医療法人潤愛会 鮫島病院	鹿児島国際観光株式会社鹿児島サンロイヤルホテル
医療法人神護庵 じんごあん整形外科内科クリニック	鹿児島県PTA連合会
医療法人回生会 生駒外科医院	鹿児島県民共済生活協同組合
社会医療法人人天会 鹿児島こども病院	株式会社甲斐商店
社会医療法人緑泉会 米盛病院	有限会社中央医科器械
株式会社北義肢製作所	有限会社平成メディカル
有限会社KAJA	有限会社アート印刷
三幸商事株式会社	株式会社中礼義肢製作所
黒木印刷	日本ガス株式会社
中原保険事務所	株式会社久永
株式会社フレイスコーポレーション	一般社団法人 異業種法令遵守協議会
九州労働金庫鹿児島県本部	公益社団法人鹿児島県看護協会
鹿児島県運動具小売商協同組合	医療法人愛徳会 上村内科クリニック

ヘルプマーク・ヘルプカードについて

「ヘルプマークとは？」

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見から援助等が必要なことが分かりにくい方々が、周りの人に支援が必要であることを知らせ、障害等の特性に応じた支援を受けやすくするためのマークです。

県では、これまでのヘルプカードに加え、本年7月から、新たにストラップ型のヘルプマークを配布しています。



【配布窓口】

・各市町村・県地域振興局・支庁・事務所・ハートピアかこしま・県障害者支援室

【郵送による配布方法】

県のホームページから、「ヘルプマーク・ヘルプカード交付に係るアンケート(郵送用)」をダウンロードし、必要事項を記入

したアンケートと、120円切手を貼付した返信用封筒を同封の上、県障害者支援室地域生活支援係までお送りください。

詳しくは、県障害者支援室 TEL:099-9128612746へお問い合わせいただくか、県のホームページをご覧ください。

ヘルプカード導入効果(県民の方からの声)

・病院に行くため市電に乗ったところ、ヘルプカードを見せたら優先席に座れた。

・ヘルプカードの導入により、公共交通機関内でステッカーの貼られた席に安心して座れるようになった。

・ヘルプカードを知ること、持っている人へ一歩踏み込んで声をかけやすくなるなど、心に余裕が持てる。

・自身は、外見から支援が必要なが分らないが、ヘルプカードを提示することで支援をしてもらえて、とても感謝している。

・旅行先などで、見た目で障害があることが分からないので、カードに障害があることと連絡先を書いており、カードが有助かる。



第15回鹿児島県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会が7月14日に鹿児島ふれあいスポーツランド屋内運動場で開催されました。

当初5月11日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、7月に延期。15チーム参加し、福岡県で開催される九州大会の出場枠を競いました。炎天下での熱中症を避ける目的で、クレイコートから屋内運動場に会場を変更。次年度の本県開催を見据え、鹿児島市グラウンド・ゴルフ協会の皆さまに記録員としてご協力いただきました。参加者からは、久しぶりに仲間とグラウンド・ゴルフを楽しみリフレッシュできたという感想が聞かれました。

団体の部は錦江町チームが制し、南九州Aチームが2位、串良Aチームが3位と続きました。個人の部では、3名が同スコアで並び、錦江町の近川廣美さんが優勝。南九州Aの田中要さんが2位、串良Aの湯田平悦子さんが3位と大接戦でした。

第38回鹿児島県身体障害者ゲートボール大会は、6月2日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況悪化に加えエントリー数が3チームのみであったため大会をとりやめ、その3チームを九州大会に出選することになりました。

なお、九州大会は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止となりました。

第51回九州身体障害者福祉大会・第28回九州ブロック身体障害者相談員研修会(熊本大会)のお知らせ

本年度は、オンデマンド配信視聴による参加も可能です。たくさんの方のご参加をお願いします。

なお、大会概要は各市町村身障協会に送付してあります。

日時 令和3年12月2日(木)・3日(金)
場所 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市)
申し込み先 県身体障害者福祉協会 099-122816271

表 彰

令和3年度 日本身体障害者団体連合会会長表彰

林 山 重 孝 氏

この度、林山重孝氏(元鹿児島県身体障害者協会連合会会長)が、長年にわたり身体障害者の福祉の向上に尽力された功績を称えられ、日身連会長表彰を受賞されました。

心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。



日身連会長表彰を受賞した林山氏(左)と、代理表彰した県身障協会の藤田会長(右)